

【令和2年度 右京区市政協力委員連絡協議会全体要望】

1. 右京区内の道路整備について

右京区の特に四条通以北について、土地区画整理事業や都市計画道路整備の大幅な遅れから、都市基盤整備が不十分なままにまちが形成され、観光シーズンの慢性的な渋滞や生活道路への通過車両の流入による生活環境の悪化、また、災害時における人的・物的支援等の遅れが懸念されており、このような現状を踏まえ、右京区内の道路整備推進については、平成23年度から継続して右京区全体要望としています。

昨年度は、国道162号高雄改良の完成工区から小学校に至る最終区間の設計及び同国道の川東第二工区の工事に向けた準備に着手いただくとともに、太秦地区及び西院地区のバリアフリー化事業や緊急輸送道路に架かる松尾橋をはじめとする橋梁の補修・耐震化を進めて頂いており、誠にありがたく存じます。

災害に強いまちとして、区民が安心して住みつづけるためには、引き続き、橋梁の補修、耐震化を進めながら、基盤としての道路整備を実施することが、右京区の喫緊の課題であると同が実感しています。

そこで、高雄改良及び川東第二工区や太秦地区及び西院地区における道路のバリアフリー化事業など、当面実施するとされている事業を着実に進めていただくとともに、一時休止されている路線の事業の再開はもとより、計画的に右京区内の道路事情を改善していただきますことを強く要望いたします。

(回答 建設局道路建設部道路建設課)

道路整備につきましては、非常に厳しい財政状況の中、緊急輸送道路の通行機能の確保や通学路等における安全な歩行空間の確保などに重点的に取り組んでいるところです。

右京区においては、国道162号高雄改良で京北側の最終区間の設計を進めております。また、国道162号川東（第二工区）では、今年度の工事着手を予定しております。

御池通・梅津太秦線等の一時休止路線は、今後、事業中路線の進捗状況や財政状況、地域を取り巻く交通状況や地域の皆様の御要望を踏まえ、中長期的にならざるを得ませんが、事業化に向けた検討を行っていくとともに、まずは、事業中である国道162号高雄改良及び川東（第二工区）の整備に、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

(回答 建設局道路建設部道路環境整備課)

バリアフリー化事業につきましては、今年度、太秦地区及び西院地区で工事着手に向けた設計を行っております。

太秦地区では、常磐野小学校通学路の一部において、令和2年3月に埋設管入替工

事に合わせた整備が完了し、引き続き、ときわ保育園前の道路について、今年度、工事に向けた設計を行っております。

また、西院地区では、西院小学校前の佐井通等で、測量設計を実施するほか、高辻通等の周辺道路においても順次設計を進めており、工事着手に向けて随時調整を行っております。

(回答 建設局土木管理部橋りょう健全推進課)

橋りょうの補修，耐震化につきましては，本市では「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」（第1期：平成24年度～28年度，第2期：平成29年度～33年度）に基づき，橋りょうの補修，耐震化に取り組んでおります。

右京区の橋りょうにおきましても，緊急輸送道路である松尾橋や桂橋の耐震化や老朽化対策を順次進めており，引き続き，橋りょう健全化の取組を着実に推進してまいります。

【令和2年度 右京区市政協力委員連絡協議会全体要望】

2. 地域の拠点である小中学校施設の整備について

小中学校は地域と緊密に結びつき、子ども達の学びの場としてだけでなく、様々な地域活動が行われている場であることに加えて、災害時には避難所にもなる地域の拠点でもあります。こうした中、右京区内の学校施設の多くが年月を経て老朽化が進み、その環境に不安の声が増しているため、小中学校施設の整備改善につきましては、平成24年度から継続して右京区全体要望としております。

全市的に多くの課題を抱える中、昨年度は右京区内での様々な整備に取り組んでいただきました。京北小中一貫教育校の新築・開校や、西院小学校における校舎等の増改築のための設計業務、また西京極西小学校と山ノ内小学校における、体育館の防災機能強化型リニューアル工事を進めていただき、ありがとうございます。

そして今年度は、いよいよ西院小学校において校舎等の解体工事が始まり、嵐山小学校における体育館の防災機能強化型リニューアル工事の他、区内の多くの小学校でブロック塀対策工事を御予定いただくなど、学校教育環境の充実に御対応いただいておりますことに、大変感謝しております。

厳しい財政状況の下、全市的な視野から計画的かつ効果的な改善に取り組んでいただいておりますことは重々承知しておりますが、今後とも、区内各所の小中学校施設の状況を把握し、積極的な改修と長寿命化を進めていただきますことを強く要望いたします。

(回答 教育委員会)

学校施設は児童生徒の教育活動の場であると同時に、災害発生時には地域住民等の避難所としての重要な役割を果たすものであり、本市では、体育館・プールについては防災機能強化に向けた整備を行い、校舎の老朽化対策としては、「学校施設マネジメント計画」に基づき、計画的かつ効果的な改善に取り組んでいるところです。

右京区における進捗の報告といたしましては、令和2年4月に、右京区で2校目の義務教育学校となる「京都京北小中学校」が開校したところです。

また、西院小学校校舎等では児童数の増加に対応するため、令和5年4月の供用開始を目指し、増改築を進めているところです。

学校体育館防災機能強化等整備事業としては、嵐山小学校において現在工事を進めており、今年12月の完成を見込んでいます。

さらに、平成30年度から進めているブロック塀改修工事につきましては、今年度も多くの学校で施工を予定しており、今年度末には、全校において、道路に面したブロック塀の改修工事を完了する予定です。

今後とも、右京区はもとより全市的な観点において、子どもたちの教育環境の向上はもちろんのこと、市民の安全・安心の確保に向けた施設整備を鋭意進めてまいりますので、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。